

7月定例活動

小屋周辺整備



暑い夏の日でした。

当日は二つになった物置小屋の前の整地に参加者全員が協力して作業を進めました。

まずは凸凹の土地を平らにすることから始まりました。長年、職場で培われた知識や技を出し合いながら、だんだんに思うような状態に変わり、用意した小石を敷き詰めました。この上に約30センチ四方、厚さ10センチ程の石板を20数枚、すき間のないように並べました。さらに、山側からの排水

路も確保し、その脇に長い棒状の石材で枠を作り、土砂が流れ込まないようにしました。

石材の一枚一枚、そして一本一本がいずれも相当に重く、手作業でよくここまで完成させたと思います。

途中、先月掘り残したじゃがいもを炭で焼き、皆でおいしくいただきました。

資材調達のため店まで二往復、さらにじゃがいもを焼くばかりに用意してくださった村田さんほか、全ての参加者に感謝の日でした。(河野)

森の解説板の張替え

連日真夏日が続く7月24日(土)、定例活動日の午前に森の解説板の張替えを行いました。

この森の解説板は、森の散策に訪れた人々に、森くらすの活動内容・意義を分かりやすく説明したもので、竹林・赤松林・ツツジ・ビートルアパート・トンボ池、竹炭などの活動ポイントに設置してあります。

前回設置してから、4～5年経ち、汚れて見にくくなったものや、剥

がれてしまったものなど合わせて5か所の張替えと1か所の新規設置(相生口竹林)を行いました。解説板が新しくなると、なぜか森の中も明るくなったようで、今後の活動のパワーアップにつながる気がしました。

なお、解説板のラミネーター加工については、天白土木さんの全面的な協力をいただきました。ありがとうございました。(大館)



▲老朽化した解説板の張替えに加え、相生口竹林にも新たに解説板を設置

8月定例活動

巣箱づくり



8月の定例活動はクラフト製作、巣箱づくりに初挑戦です。

手慣れた方はあらかじめ用意された図面を元に手早く作業が進められてゆきます。

竹細工の時と同様、図面を手にしてどこからかればいいのか自失状態、

結局は村田さんをリーダーに女性陣と共に共同作業となりました。

ひたすら鋸引きに専念、素材が整えば後は組み立て、それぞれ完成を見たのですが、一枚の同じ図面から仕上げたとは思いがたいほど姿・形は色々で

大笑いでした。

製作段階に関わることで思い入れも深くなります。昨年の調査では新居が好まれるとか、営巣の様子を見ながらの散策、視点が広がりが楽しみが増えました。(早川)



▲野鳥の“新居”となることに期待しつつ、はいチーズ！